

第17回のじぎくオープンゴルフ選手権大会

1次予選競技会

開催日：令和5年2月3日(金) 予備日：2月13日(月)
開催コース：垂水ゴルフ倶楽部

兵庫県ゴルフ連盟
垂水ゴルフ倶楽部競技会

ローカルルール

- アウト・オブ・バウンズは、白杭のコース側を地表レベルで結んだ線によって定められる。
現にプレーするホールの白杭を結ぶ線を越えて他のホールに止まった球はアウト・オブ・バウンズの球とみなす。
- レッドペナルティーエリアの縁は、赤杭または赤線で定める。No5ホールにおいてペナルティーエリアの中に球がある場合(入ったことが分かっているまたは事実上確実な場合を含む)、プレーヤーは次の処置を取ることができる。
 - (1)規則17.1dに基づく処置
 - (2)1打の罰のもとに球を救済エリアにドロップすることができる。このローカルルールに違反の罰：一般の罰
- 修理地は白線をもってその縁を定める。
- ジェネラルエリアにある排水溝は、ジェネラルエリアにある動かさない障害物とする。
- 電磁誘導カート用の2本のレールは、その2本のレールの全幅をもって1つのカート道路とみなす。
- 人工の表面を持つ道路に接した排水溝は、その道路の一部とみなす。
- カート及びカートに載っているキャディバックは、局外者とみなす。
- 特定の用具の使用制限
 - 『適合ドライバーヘッドリスト・ローカルルールひな型 G-1』を適用する。
 - 『溝とパンチマークの仕様・ローカルルールひな型 G-2』を適用する。
 - 『適合球リスト・ローカルルールひな型 G-3』を適用する。
- キャディー
正規のラウンド中、競技者は委員会によって指定されたキャディーを認める。ただし、規則 10.3a は次のように修正される。
プレーヤーはラウンド中に委員会によって指定された者以外キャディーとして使ってはならない。
ローカルルールの違反の罰：
 - ・そのプレーヤーはそうしたキャディーに援助してもらったその各ホールに対して一般の罰を受ける。
 - ・違反がホールとホールの間で起きたり、ホールとホールの間まで続く場合、プレーヤーは次のホールで一般の罰を受ける。
- 規則 5.5b は次のように修正される：2つのホールのプレーの間、プレーヤーは次のことをしてはならない。
 - ・終了したばかりのパッティンググリーンやその近くで練習ストロークを行う。または、
 - ・終了したばかりのパッティンググリーンの表面をこすったり、球を転がすことによってパッティンググリーンをテストする。
- プレーの中断と再開
 - (1)プレーの中断(落雷などの危険を伴わない気象状況)については、規則 5.7a, b, c, d に従って処置すること。
 - (2)険悪な気象状況にあるため、委員会の決定によりプレーが中断となった場合、同じ組の競技者全員がホールとホールの間をいたときは、各競技者は委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。
1ホールのプレーの途中であったときは、各競技者はすぐにプレーを中断しなければならず、そのあと、委員よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。
競技者がすぐにプレーを中断しなかったとき、規則 5.7b に定められている、プレーを止めなかったことが正当であると委員会が裁定した場合、罰はない。
 - (3)プレーの中断と再開の合図について
通常のプレー中断： カートナビで案内する。
険悪な気象状況による即時中断： カートナビで案内する。
プレーの再開： カートナビで案内する。

競 技 の 条 件

1. ゴルフ規則
日本ゴルフ協会ゴルフ規則とこの競技のローカルルールを適用する。
2. 競技委員会の裁定
競技委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について、この委員会の裁定は最終である。
3. 競技終了時点
本予選競技は、競技委員長が成績発表がなされた時点をもって終了したものとみなす。
4. 移動
正規のラウンド中、乗用カートの乗車を認める。
5. タイの決定
順位がタイの場合は『マッチング・スコアカード方式』により順位を決定する。
6. 通過者
2次予選会への通過者決定は、Hdcp Index Aクラス(～9.9) Bクラス(10.0～18.0)にクラス分けを行い、Aクラス・Bクラスあわせて40名の方が進出できる。総参加者数により、通過者数に端数が出る場合は、A・Bクラス分けをした時点のクラス別総参加人数が多いクラスへ比例配分時に1名多く付与します。
7. 本競技のスコアをプレイヤーもしくはプレイヤーの所属するゴルフクラブがJ-sysに登録する際は、スコアタイプのラウンド種別を「競技」に指定して登録すること。

注 意 事 項

1. 男性ティーマーク： 黄マーク 女性ティーマーク： 緑マーク
2. 正規のラウンド中に2点間の直線距離以外の高低差などが計測できる距離測定器を使用した場合は、プレイヤーは規則4.3a(1)の違反となる。
3. 競技の条件やローカルルールに追加、変更のあるときは、スタート前に掲示して告知する。
4. グリーンに著しく損傷を与えるシューズは使用禁止とすることがある。
5. 練習は、指定練習場で行い、打球練習場では備え付けの球を使用すること。(スタート前の練習球は1籠までとする) 9ホール終了後、練習グリーンでのパッティング練習は可とする。(本競技はスループレーではない)
6. スタート時間10分前には、必ずティイングエリア周辺に待機すること。
7. スタートホールにて最新のHdcp Index 証明証(ハガキ・プリントアウト・アプリ画面)をご提示して下さい。
8. プレーの進行に留意し、先行組との間隔を不当にあけないように注意すること。プレーの不当な遅延は、ゴルフ規則5.6aにより罰せられる。
9. ラウンド中、競技者は部外者を近づけないよう十分、留意すること。これを怠ると、規則10.2aにより罰せられることがある。なお、部外者のコース内立入りは禁止する。
10. 委員会は競技中を含め、いつでも出場者に相応しくないと判断した競技者の参加資格を取り消すことができる。
11. GlidNoを複数お持ちの選手は、開催日までに1つに決定してください。

なお、開催後に故意に複数取得されている選手と発覚した時点で、参加した競技が終了していたとしても、その選手の成績は過去に遡りその時点から無効とします。

各選手は、競技参加日までに再度WEB会員情報内、選手登録を開き現在のGlid No及び所属先と最新のHdcpを確認のうえ訂正がありましたら開催日までに変更し、ご参加ください。

競技委員長 濱田 博則